

# 北原学院歯科衛生専門学校同窓会報

同窓会報 第19号

発行/北原学院歯科衛生専門学校同窓会  
〒270-0034 千葉県松戸市新松戸1-348-2

TEL:047-341-8115

編集・印刷  同窓会事務局

〒121-0831 東京都足立区舎人3-11-26EPS  
TEL:03-5839-3456

北原学院歯科衛生  
専門学校 同窓会

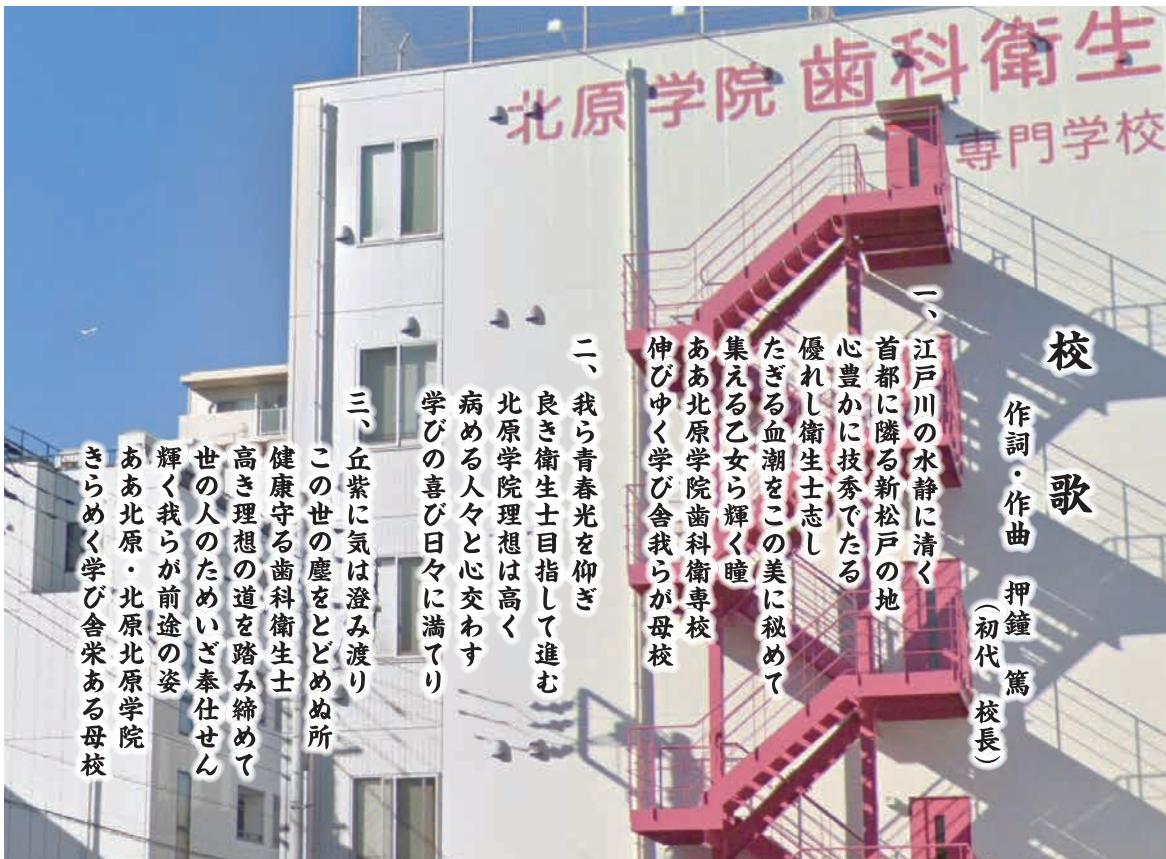
第19号

発行:令和6年3月1日

40周年  
記念式典  
特集



# ゆうかり



## Contents

- 会長・理事長・学校長あいさつ・退任式 ······ 2~3
- 記念講演 ······ 4
- 開校四十周年記念祝賀会 ······ 5~10
- 会計報告・追悼・同窓会役員募集 ······ 11~12





## ご挨拶

同窓会会長  
猪野 貞子



令和6年能登半島地震で被災された皆様に、深くお見舞いを申し上げると共に一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

日頃より同窓会活動にご協力を賜り、誠にありがとうございます。この数年はコロナ禍を理由に同窓会活動が滞っておりましたが、久しぶりの会報誌発行となりました。そのため、今号は令和元年11月3日に帝国ホテル孔雀東の間で行われました北原学院歯科衛生専門学校開校40周年祝賀会の特集となっています。写真を沢山掲載しましたので、懐かしいお仲間を探してみてください。また、特別講演をして頂きました5期生の池上由美子さんの了承を得て講演内容を掲載させていただいています。ご活躍を耳にしますと、同窓生としてはとても嬉しい限りですね。

さて、伊藤校長から本誌への原稿執筆をいただいた中に、同窓生の子女が入学する際には入学金の一部援助をして下さるという内容の文章がございました。歯科衛生士は今後も増え世の中に必要とされていく職業です。親子で同じ職業に就くと細かいアドバイスも遠慮なくでき、家庭内の親子のコミュニケーションにもなると思います。また、学院では毎年、介護士免許取得の研修会を催して

いるそうです。今回、広く同窓生にもお誘い下さり募集要項のチラシが入っていますので、興味のある方は学院に問い合わせしてください。

国立長寿医療研究センターの病院歯科口腔先進医療開発センター長の角 保徳先生著書『超高齢社会のための専門的口腔ケア』(2018年初版)の中に、今後50年間、超高齢社会が継続し、現在の歯科医師、歯科衛生士および学生が、歯科医師、歯科衛生士としての人生を終えるまで、超高齢社会が継続することは確実です。青少年のう蝕減少と併せて、診察する患者さんの大多数は、高齢者になると予想されます、と記されています。

先日、私が担当する90歳代の患者様が、診療途中にトイレに行きたいとおっしゃったので、中断して手引き歩行にてトイレに誘導しました。同行した家族は同時に他のユニットで治療を受けていたために、私がトイレ介助をしました。私は約20年前にヘルパー免許を取得していましたので、何の躊躇もなくその介助ができましたが、普通はそこまでしないですよね。ですが私がそれをしなければ、ご家族が受診を中断して診療予定に影響を及ぼし、次回は次の患者様へも順に時間のズレが生じてしまうと思います。このような事例は今後もあることですし、車椅子からのユニットへの移乗などを考えると、私がヘルパー免許を持っていることは歯科医院にとっても、大きなメリットとなっていると思います。同封の介護士研修会は大変格安だと思います。

それから、この会報誌は『(株)同窓会事務局』という会社に印刷と発送を依頼しています。住所変更や姓の変更、友達の住所が変わった等、登録情報の変更がある場合は、会社にご連絡をお願いいたします。(巻末に連絡先を掲載)



## 同窓生の皆さん よろしくお願ひします。

理事長  
北原 喜芳



同窓生の皆さんこんにちは、2023年4月より北原学院歯科衛生専門学校の理事長に就任致しました北原喜芳(きよし)と申します。10年ほど前より1年生の「歯科臨床概論」という講座を担当していましたので知っている方も多いと思いますが、ほとんどの同窓生の方ははじめましてだと思います、改めて宜しくお願ひ致します。

私の呼び方についてなのですが、学院や歯科医院では、父の方は「北原先生」、私の方は「喜芳先生」と呼ばれておりますので、見かけましたらどうぞ気軽に「喜芳先生」と声をかけて下さい。稀に「理事長」と呼ばれることがあるのですが、まだ反応するまでに時間がかかってしまいます(汗)。

さて、父より理事長の職を引継いでからもうすぐ一年となります。まだ分からないうことが多い、ほかの

教職員や事務員の方々に支えられながら色々と任をこなしている次第です。一方父のほうはというと、理事長の役職から解放され、悠々自適な老後生活を満喫しているのかといえばさにあらず、週何日かは学校の方に顔を出し、面接や説明会を手伝ったり、国試を控えた学生にマックカードを配ったり(笑)しております。まあ代替わりはしたもののまだ私だけでは任せられないなど、陰ながら支えてくれている状況です。

現在私の方は、新松戸校の各学年の昼間部と夜間部でそれぞれ授業を受け持ち、学生の教育と指導を行っております。一時期はコロナウイルスの影響でリモート授業等を行っておりましたが、今はほぼ対面授業に戻っております。やはりリモート授業では個々の学生の反応が分かりにくく、会話が一方通行になってしまいがちでしたが、対面に戻り学生のリアルな反応を目の当たりにしながら講義を行うことで、あらためて対面授業の良さを痛感しております。また場所を選ばずにスマホ一つで会議を行えるリモートの利点も活用し、臨床施設への説明会や国試前夜の最後の応援等では、現在もリモートを使用しております。

最近の出来事と言えば、学校に初めての男子学生が入学しました(現在2年生)、まだ学校に一人だけの男子なのでかなり肩身の狭いところはありますが、一生懸命頑張つ

て実習や授業をこなしております。それに合わせてというわけではありませんが、学生の白衣もスクラブ型に変更になりました、これも時代の流れなのですかね。

最後になりましたが、歯科衛生士を目指す同窓生のお子様やご兄弟につきましては今後入学に際して、何かしらの優遇措置等を考えて行きたいと思っておりますので、

ぜひとも当校にご推薦のほど宜しくお願ひ致します。またこの同窓会報「ゆうかり」につきましても、今後とも継続して行きたいと思っておりますので、これからも北原学院歯科衛生専門学校をどうぞ宜しくお願ひ致します。



## 同窓生の皆さん、 こんにちは

松戸校校長  
伊藤 孝訓



同窓生の皆さん、こんにちは。

私は、令和2年(2020)3月末で、日本大学松戸歯学部歯科総合診療学講座教授を退任し、4月より北原喜一前理事長のお説いで、医療法人北原歯科に就職しました。そして、2年後の令和4年4月に那須郁夫前校長より引継ぎました。松戸歯学部4期生で、臨床系科目としては初めての校長です。どうぞ宜しくお願ひいたします。

久々の同窓会報の発刊、おめでとうございます。新型コロナによるパンデミックにより停滞していた各種行事が4年ぶりに開催されたという話題をよく耳にします。経済不況から脱却しようと多くの企業は活動を活発化しています。同窓会も活動を再開するというお話を猪野貞子同窓会長からお聞きしました。世間の流れに乗り遅れないためにも北原学院は同窓会と協働して歩まなければなりませんので、素晴らしいことだと思います。

令和5年度の入学者数は、昼間コース80名、夜間コー

ス65名で、北原学院では最多入学者数だと伺いました。丁度、日本大学松戸歯学部歯科衛生専門学校が廃校を決めて、募集を停止した影響もあったかと思われます。しかし、一転して令和6年度の学生募集は、ほぼ佳境が過ぎた現在でも定員を満たしていないという状況に陥りました。来年から開校するつくばエクスプレス沿線の医療創生大学歯科衛生専門学校の影響かと思いましたが、それだけではないようです。その影響が及ぼない千葉校も同じような状況になっているのです。他の要因としては、子供の減少、選択しなければほぼ全入の大学、そのため高校の進学指導の先生方が大学受験を推奨する、また企業が働き手を求め市場が活発化してきたためと思われます。

歯科疾患は、CureとCareが分けにくい生活習慣病です。患者が「治癒した」と感じるのは症状消失だけでなく、咀嚼機能の回復により満足な生活を取り戻したときであり、治療的介入に加えてCareは重要となります。そのため、歯科の診療形態が変化てきており、歯科衛生士もさらにキーパーソンとなり、歯科衛生士の需要は高まっております。

是非とも、母校の発展のために、同窓生からご子女の入学への促しをお願いいたします。北原学院は、ご子女の支援として具体的に入学金免除等について検討しております。同窓の皆様、より一層のご支援をよろしくお願ひいたします。

Cure：病気の原因の除去として、患部に直接アプローチして「治す」

Care：もっと心身や生活全体を俯瞰的にみて、QOL(生活の質)を高めるための「お世話」

令和5年3月31日 北原喜一先生 理事長退任式を行いました。

コロナ禍の為、学院にて嘉藤先生、鈴木先生、猪野会長、花里前事務長にご来校いただき開催しました。



北原喜一先生 ありがとうございました。



## 北原学院歯科衛生専門学校40周年祝賀会記念講演 「生きるをサポートする歯科衛生士を目指して ～寄り添う・想いを繋ぐ未来へ～」

講師：がん感染症センター都立駒込病院  
看護部歯科衛生士主任  
5期生 池上 由美子先生



### 1 時代の要請に応える母校の躍進

私の母校である北原学院歯科衛生専門学校は、今年で、創立40周年を迎えました。多くの先輩、後輩達が、歯科衛生士として歯科業界で多数活躍されています。

先日、毎日新聞(2019.10.19)で、高齢化に伴い予防歯科への意識が高まり、歯科衛生士の需要も多い中、日本全国の現場では歯科衛生士不足が問題となっている。という記事が載っていました。

そのような時代要請を鑑み、北原学院歯科衛生専門学校は新松戸校だけでなく、新たに千葉校も開校しました。さらに、働きながら歯科衛生士を目指したいと願う学生の希望に応えるために夜間コースも開設し、北原先生をはじめ多くの先生が夜遅くまで授業を行い歯科界を支える担い手を多く生み出しています。

私はこの北原学院から数多くの歯科衛生士が巣立っていくことに、心から誇りに感じています。

### 2 「生きるをサポートする歯科衛生士を目指して ～寄り添う・想いを繋ぐ未来へ～」

今回、私はこの40周年記念祝賀会で、同窓生として講演をさせていただき、「生きるをサポートする歯科衛生士を目指して～寄り添う・想いを繋ぐ未来へ～」として、三つのことをお話させていただきました。

まず、第一に、今日の日本の現状とこれから求められていく歯科衛生士像とは何か？そして、第二に、私が歯科衛生士として出会った患者さんの中で私の生き方を変えた方との出会いと別れについて、第三に、これから歯科衛生士への take for message です。

今日本は、変革の時もあります。30年続いた平成から令和へ時代が代わり、少子高齢化に歯止めがきかない状況です。出生数が減少し、働く世代である18歳人口は100万人を切ろうとしています。一方、65歳以上の高齢者は年々右肩上がりとなり、100歳以上の方も6万5000人を超えていました。このような超高齢社会に伴い、色々な問題も起きています。65歳以上の認知症の罹患率は約20%近くまで増加しています。また生涯なんらかのがんに罹患する方は日本国民の二人に一人となり、私達の生活と密接な病気となっていました。このような背景の中、2012年には周術期等口腔機能管理が保険収載され、がん患者や人工関節置換術、脳血管障害患者などへ口腔支持療法としての口腔ケア(口腔健康管理)を歯科衛生士が行うことになりました。今を生きるがん患者さんのがん治療の継続や緩和医療で在宅へ移行した多くの患者さんの最後までをもサポートしていきます。

私は歯科衛生士としての根幹は、北原学院で学びま

した。その上のアドバンスは全て、多くの患者さんから教えていただきました。その中でも忘れられない患者さんがいます。それが急性骨髓性白血病で一緒に共に病と闘ってきたK君です。

彼の16歳から20歳までの闘病の軌跡は、彼の人生の中で1/4を占めた彼の人生でもあります。彼は、15回以上の抗がん剤治療や3回に及ぶ造血幹細胞移植治療を行ってきました。多分私では、到底、乗り越えられるとは思えないほどの過酷な治療を次から次へと乗り越えてきました。その治療の中口腔ケアを通じてサポートしてきた私は、彼から精一杯生き切ることの素晴らしさと信念を持って夢を追いかけることが勇気ある一步を踏み出せる何物にも代えがたい大きな力になることを教えてもらいました。

### 3 受け継がれる想い

今、北原学院を卒業し臨床で働いている多くの皆さんにもきっと忘れられない患者さんがいるのではないかと思います。この日本の約1億2000万人の中で生涯あなたが出会える人はほんの一握りです。しかし、縁があって出会えたその人とその縁を是非大切にしていただきたいと思います。

私達がこの北原学院で出会い、共に学び、友人、先生と育んできた交心という想いは、みなさんがこれから出会う一人一人の患者さんへ歯科衛生士として共に向かい、共に心を交わせ、今を生きる患者さんと共に歩んでいくことを意味していると私は思います。

最後に、北原学院歯科衛生専門学校創立40周年記念への感謝と喜びとともに、この交心の想いは、きっと、これから歯科衛生士として羽ばたく後輩達の心に脈々と未来まで受け継がれていくと、私は信じています。

何故なら、私達北原学院の同窓は、One Teamなのですから・・・。

### 池上 由美子 先生 略歴

1986年北原学院歯科衛生専門学校卒業(第5期生)  
東京理科大学理学部物理学科卒業  
首都大学東京大学院人間健康科学研究科フロンティアヘルスサイエンス域臨床神経科学分野博士課程卒業  
愛知学院大学大学院 歯学研究科 口腔外科在籍

- ・執筆活動  
治療を支えるがん患者の口腔ケア  
一社)日本口腔ケア学会学術委員会  
編集 医学書院 等多数
- ・現在、がん感染症センター都立駒込病院 看護部歯科衛生士主任として勤務



北原喜一前理事長



北原喜芳理事長





那須郁夫前校長



嘉藤寿満子先生



猪野貞子同窓会会长



第5期生 池上由美子講師のご講演



元顧問 中村博亘先生





歴代の先生方です。  
懐かしいですね。







同窓生集合!



久しぶりの再会に  
歓喜。







## 【預金通帳】 令和3年度(2021年度)会計決算報告

年	月	日	摘要	収入	支出	預金残高
3	4	1	令和2年度より繰り越し			10,071,997
5	10		同窓会会費(39期生夜間部 47名分)	470,000		
	11		同窓会会費(39期生昼間部 77名分)	770,000		
			運営費		1,375	
	18		ハナチョー(北原理事長・瑞宝双光章受賞祝い)	29,560		
			雑費(振込手数料)		440	
	9	11	令和3年度上期分利息	46		
4	2	24	運営費		90,000	
3	10		(株)同窓会事務局へ振込 ※		176,000	
			雑費(振込手数料)		440	
	12		令和3年度下期分利息	48		
				1,240,094	297,815	11,014,276

## 【運営費内訳】

科目	収入	支出	現金残高
令和2年度繰り越し金	14,250		
預金通帳より	91,375		
40期卒業式記念品代		67,200	
峰月様 過徴収金 返金@64×7	448		
会計顧問料(R3年度)		20,000	
		106,073	87,200
			18,873

※株式会社同窓会事務局への支払い内訳

内容	金額
事務局代行費(R3年4月～R4年3月)	60,000
ページ更新	40,000
ドメイン取得	30,000
年間維持用	30,000
消費税(10%)	16,000
合 計	176,000

令和4年(2022年)3月31日

北原学院歯科衛生専門学校同窓会

会計 鳴尾 恵  吉武 麻衣   
会計監査 小林 由香  志村 有香 

## 【預金通帳】 令和4年度(2022年度)会計決算報告

年	月	日	摘要	収入	支出	預金残高
4	4	1	令和3年度より繰り越し			11,014,276
	13		同窓会会費(40期生昼間部 74名分)	740,000		
5	10		同窓会会費(40期生夜間部 50名分)	500,000		
7	1		(株)同窓会事務局へ振込 ※		176,000	
			雑費(振込手数料)		440	
8	17		運営費		30,000	
9	6		42期宣誓式記念品代		60,900	
10			令和4年度上期分利息	50		
5	2	24	同窓会会費(41期生昼間部 69名分)	690,000		
3	3		運営費		69,000	
4	4		同窓会会費(41期生夜間部 37名分)	370,000		
8			運営費		20,000	
13			令和4年度下期分利息	51		
				2,300,101	356,340	12,958,037

## 【運営費内訳】

科目	収入	支出	現金残高
令和3年度繰り越し金			18,873
預金通帳より	119,000		137,873
同窓会役員活動費・交通費		28,335	109,538
41期卒業式記念品代		69,300	40,238
会計顧問料(R4年度)		20,000	20,238
		119,000	117,635
			20,238

※株式会社同窓会事務局への支払い内訳

内容	金額
事務局代行費(R4年4月～R5年3月)	60,000
ホームページ作成・維持費	100,000
上記作業費 消費税(10%)	16,000
合 計	176,000

令和5年(2023年)3月31日

北原学院歯科衛生専門学校同窓会

会計 鳴尾 恵  吉武 麻衣   
会計監査 小林 由香  志村 有香 

## 追悼 角田正健先生

北原学院千葉歯科衛生専門学校校長 角田正健先生  
が令和6年2月4日にお亡くなりになりました。長きに  
わたり松戸校にて歯周病学のご講義をいただきました。  
ご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。



## 同窓会役員 令和5年度

会長	猪野貞子 (1)
副会長	鱣渕芳江 (7)
会計	鳴尾 恵 (35)
書記	小嶋昭衣 (31)
広報	柴田実香 (15)
監査	小山洋子 (26)

## 同窓会役員を募集しています。

同窓会活動をお手伝いいただける方を募集しています。

交通費実費支給・活動費は時給にて支給。

詳しい事は教務課 鱣渕まで

TEL 047-742-7401

住所変更も  
コチラへ同窓会事務局 TEL: 0120-10-9899 (内線145) 平日10:00~17:00  
お問い合わせ FAX: 0120-10-9184 (終日受付)